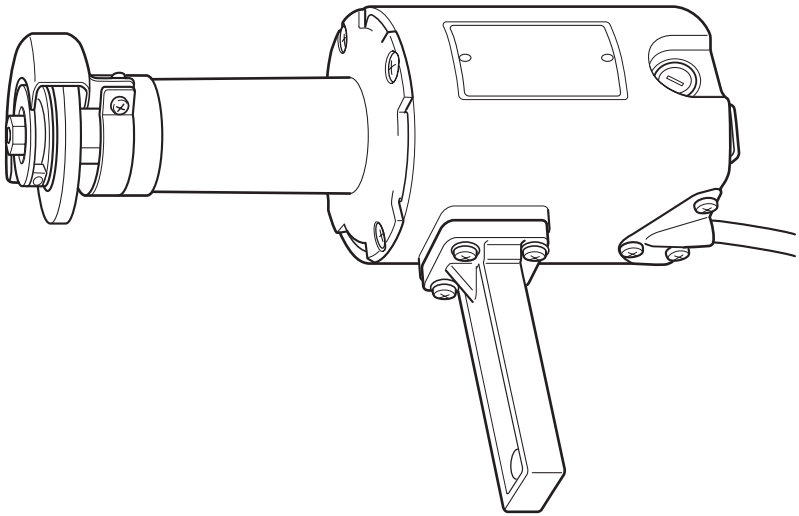
Hitachi Koki

日立ツールポストグラインダ

65㎜ GL 7

取扱説明書

このたびは日立ツールポストグラインダをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ……2

ツールポストグラインダの使用上のご注意 ……5

各部の名称 ……7

仕　　様 ……7

標準付属品 ……7

別売部品 ……8

用　　途 ……8

作業前の準備 ……8

ご使用前に ……9

削　り　方 ……11

トイシの取付け・取りはずし ……12

保守・点検 ……13

ご修理のときは ……14

全国営業拠点 ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告　：　**誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意　：　**誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注　：　**製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑪ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑫ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑬ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑭ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑮ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑯ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑰ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑲ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

⑳ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉑ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

ツールポストグラインダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，ツールポストグラインダとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

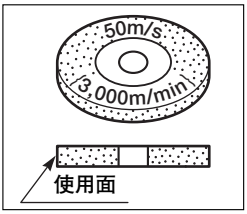
① 使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② 必ずアース（接地）してください。
故障や漏電などのとき，感電の恐れがあります。
（詳細は，8ページの「1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

③ ホイルガードは，必ず取り付けて使用してください。
トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

④ 使用するトイシ（レジノイドトイシ）は，最高使用周速度 50 m／s｛3,000 m／min｝以上の正規のトイシを取り付け，正しい使用面で研削してください。
正規以外のトイシを使用したり，正しい使用面以外で研削すると，トイシが破壊し，けがの原因になります。
（トイシ寸法は7ページの仕様欄をご参照ください）

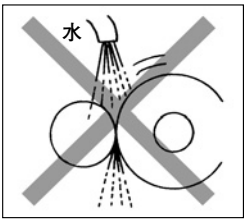
④



⑤ トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
異常があると，トイシが破壊し，けがの原因になります。

⑥ 本機は，旋盤の刃物台に確実に取り付けてください。また，使用前に，本機が確実に取り付けられていることを確認してください。
確実に取り付けられていないと，けがの原因になります。

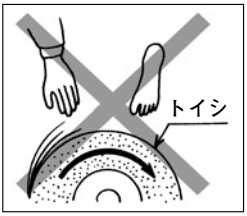
⑦



⑦ 水，研削液などは使用しないでください。
乾式用のため，トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

⑧ 使用中は，回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

⑧

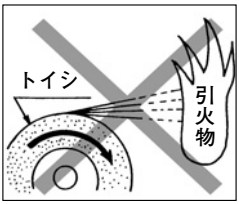


⚠ 警　告

⑨ **研削粉は火花となって飛散するので，引火しやすいもの，傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また，研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。**

火災ややけどの原因になります。

⑨



⑩ **回転させたまま，放置しないでください。**

けがの原因になります。

⑪ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**

そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑫ **誤って落としたり，ぶつけたときは，トイシや機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**

破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑬ **継ぎ(延長)コードを使用するときは，アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。**

アース線のない2心コードですと，感電の原因になります。

⑭ **〔事業者の方へ〕　トイシの取り替え・試運転は，法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。**

関連法令　労働安全衛生規則　第36条
労働安全特別教育規定　第1条，第2条

⚠ 注　意

① **工具類(トイシなど)や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **新しいトイシを取り付け，はじめてスイッチを入れるときは，トイシの露出部から一時身体を避けてください。**

トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

③ **トイシを急激に加工物へ当てたり，強く押し当てたりしないでください。**

トイシにヒビ，割れなどが生じると，トイシが破壊し，けがの原因になります。

④ **試運転を励行してください。**
試運転時間は，11ページの「6. 試運転を行なう」の項をご参照ください。

試運転せずに作業開始すると，思わぬけがの原因になります。

各部の名称

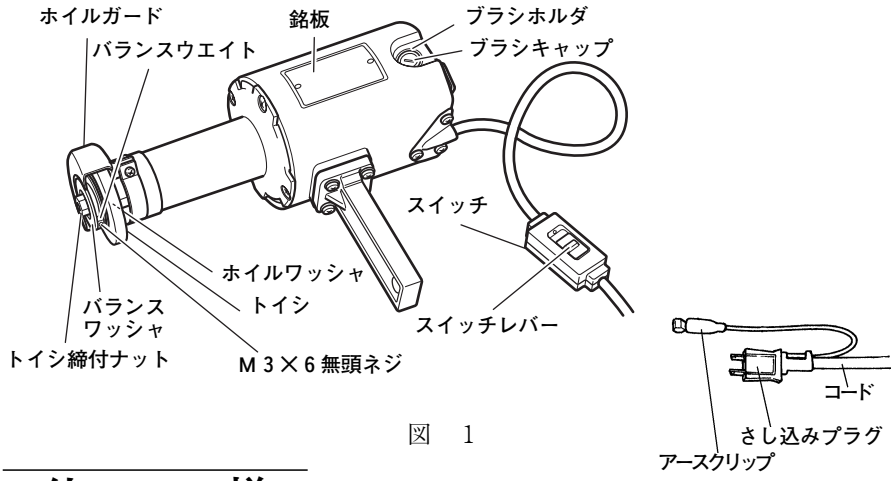


図　1

仕　　様

使 用 電 源	単相交流 50／60 Hz　共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
全負荷電流	3.4 A
消 費 電 力	325 W
無負荷回転数	14000 min^{-1} {14000 回／分}
トイシ寸法	外径65 ㎜×厚さ 6 ㎜×穴径 12 ㎜
質　　量	5.0 kg（コードを除く）
コ ー ド	アースクリップ付３心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

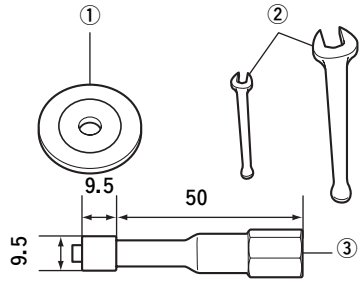


図　2

① トイシ（65㎜レジノイドホイル）……１枚
② スパナ（13 ㎜），（5.5 ㎜）……各１個
③ ショートエキステンション
（外径 9.5 ㎜×厚さ 9.5 ㎜×穴径 3.5 ㎜
トイシ付）…… １個

別売部品 ……（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

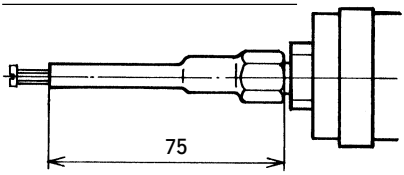


図　3

○ロングエキステンション
　標準付属品のショートエキステンションと同様なロングエキステンション（図３）を別途販売しております。ご利用をおすすめいたします。

○外径１６㎜×厚さ 9.5 ㎜×穴径 3.5 ㎜トイシ
　ショートエキステンションやロングエキステンションに取付けてご利用ください。

用　　途

旋盤の刃物台に取付けて，一般鋼材の内面および外周面の研削

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

１．アース（接地），漏電しゃ断器の確認……

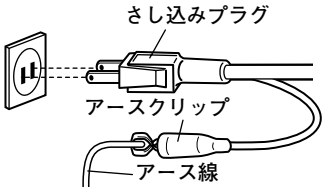
ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下，漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また，本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA以下，動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは，下記の図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ，アース線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板，アース棒）を埋め，アース線を接続するなどの接地工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。なお，アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので，絶対にしないでください。



漏電しゃ断器やアース（接地）については，次の法規がありますので，ご参照ください。

労働安全衛生規則（第333条，第334条）
電気設備の技術基準（第19条，第29条，第40条）

2．継ぎ(延長)コード……

⚠ 警　告
• 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

次の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 ㎟	20 m
1.25 ㎟	30 m
2　㎟	50 m

必ずアース(接地)できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告
• ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，トイシや機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチレバー（図１参照）をスライドさせて，**ＯＮ**を表示させると入り，**ＯＦＦ**を表示させると切れます。スイッチレバーが**ＯＦＦ**表示の位置にあることを，必ず確認してください。

3．ホイルガードの確認，本機の取付け……

ホイルガードは万一トイシが破壊した場合の保護のためのものですから必ず取付けてください。ホイルガードは２本のネジで取付けられており，このネジをゆるめることにより向きを変えることができます。作業のしやすい方向に調整してお使いください。調整後はネジを確実に締付けてください。

本機を取付ける場合は確実に取付けてください。

4．トイシの確認および交換……

トイシは工場出荷時に取付けてありますが，念のためヒビ，割れがないか調べてください。また交換の際は 12 ページ「トイシの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

〈ショートエキステンションの取付け〉

(1) 小径穴の内面研削に便利なように標準付属品として図２に示すようなショートエキステンションを付属しておりますから本体付属トイシで大きすぎる場合にはこのショートエキステンションをご使用ください。

ショートエキステンションは，図１に示すナット，バランスワッシャ，トイシ，ホイルワッシャ等を取りはずせばそのままねじ込むことによって簡単に取付けることができます。その際，トイシの取付け・取りはずしと同様な方法でスパナを用い，ショートエキステンションを締付けてください。

(2) ホイルワッシャを取りはずす場合は，図４に示すように 5.5 ㎜スパナをシャフト後端部の回り止め部にあてがってシャフトの回るのを止め，13 ㎜スパナをベアリングカバの切欠け部にあてがい，ベアリングカバをトイシ側から見て左に回しますとホイルワッシャは切欠け部に押されてはずれます。このときシャフトおよびボールベアリングが若干前へ出てきますが，ベアリングカバを締付けますともとの状態に戻ります。

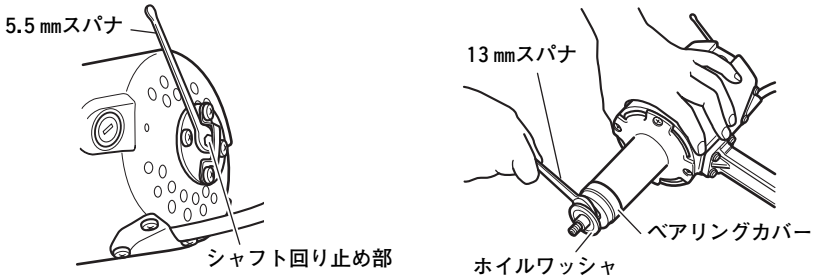


図　4

(3) ショートエキステンションやロングエキステンションを用いて内面研削をする場合は，ホイルガードをはずしてください。

5．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

6．試運転を行う……

⚠ 注　意

- **本機のスイッチを入れるときは，本機の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると，トイシが破壊することがあり，けがの原因になります。**
- **新しいトイシを取付け，はじめてスイッチを入れるときは，トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。**

トイシにヒビ，割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。作業前には人のいない方向にトイシを向け，必ず試運転を行なって異常がないことを確認してください。

試運転の時間は　トイシ交換のとき……3分間以上
その日の作業始めのとき……1分間以上です。

削　り　方

⚠ 警　告

- **作業中は，必ず保護メガネを使用してください。**
- **機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり，割れたりする恐れがありますので，取扱いには十分注意してください。**
  万一機体を誤ってぶつけたり，落としたりしたときは，必ずトイシのヒビ割れや，機体に破損などがないことを十分確認してください。

トイシを被研削物に急激に当てたり，急激に負荷をかけたりしないでお使いください。

〈トイシについて〉

日立ツールポストグラインダには，次ページに示すような一般鋼材の内面および外周面の研削に適するトイシを用意しております。

トイシ寸法(㎜)			と粒	粒度	結合度	結合剤	備　考
外径	厚さ	穴径					
65	6	12	A	46	Q	B	標準付属品
9.5	9.5	3.5	WA	46	M	V	標準付属品
16	9.5	3.5	WA	46	M	V	別売部品

〈被研削物の推薦速度〉

被研削物の速度は仕上げ面およびトイシの摩耗に影響し，また能率にも大きく影響します。被研削物の一般的推薦速度を下表に示しますので参考にしてください。

被研削物の推薦速度（m／s｛m／min｝）

	鋼　　材		
	軟	中	硬
粗円筒研削	0.2 ～ 0.25 ｛12 ～ 15｝	0.23 ～ 0.3 ｛14 ～ 18｝	0.25 ～ 0.3 ｛15 ～ 18｝
仕上円筒研削	0.15 ～ 0.2 ｛9 ～ 12｝	0.15 ～ 0.2 ｛9 ～ 12｝	0.22 ～ 0.27 ｛13 ～ 16｝
穴研削(内面研削)	0.3 ～ 0.35 ｛18 ～ 21｝	0.35 ～ 0.4 ｛21 ～ 24｝	0.35 ～ 0.4 ｛21 ～ 24｝

	鋳　鉄	銅合金	アルミニウム
粗円筒研削	0.2 ～ 0.25 ｛12 ～ 15｝	0.3 ～ 0.35 ｛18 ～ 21｝	0.5 ～ 0.67 ｛30 ～ 40｝
仕上円筒研削	0.15 ～ 0.2 ｛9 ～ 12｝	0.25 ～ 0.3 ｛15 ～ 18｝	0.4 ～ 0.5 ｛24 ～ 30｝
穴研削(内面研削)	0.35 ～ 0.4 ｛21 ～ 24｝	0.35 ～ 0.45 ｛21 ～ 27｝	0.5 ～ 0.67 ｛30 ～ 40｝

トイシの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

部品名は図１，図４をご参照ください。

(1) トイシの回転方向はモーター側より見て時計方向になっております。トイシの取付け・取りはずしの際はシャフト回り止め部に 5.5 ㎜スパナをさし込みシャフトの回るのを止め，13 ㎜スパナでトイシ締付けナットを回します。締付けは，トイシ側より見て時計方向，緩めは反時計方向に回します。

(2) トイシ自体はどのトイシも完全にはバランスが取られてありませんのでバランスワッシャにバランスウエイトを設けこの位置を調整してバランスを取る構造になっております。バランスウエイトは無頭ネジＭ３×６によって固定されております。

(3) お納めするグラインダは上記のバランスウエイトによって完全にバランスを取ってありますが，トイシを交換した際は必ずバランスを取った上でご使用ください。

バランスの取り方

○ まず図５－（A）のようにバランスウエイト２コを 180° の位置に取付けます。手で静かに回転させると，やがて静止します。これを数回繰り返し，静止した時いつも真下にくる位置を求め，そこに印を付けます。この位置に重いところがあるわけですから図５－（B）のように印に近い位置のバランスウエイトを印から離れる方向に動かし，取付け直してください。

○ 次に，また手で回転させてみて，真下にくる位置が一定しなくなったら大体のバランスが取れたことになります。
○ 更に細かい調整は，スイッチを入れ回転させてみて，振動が大きくないかどうかチェックします。大きいようでしたら，ごくわずかバランスウエイトの位置を動かしてください。

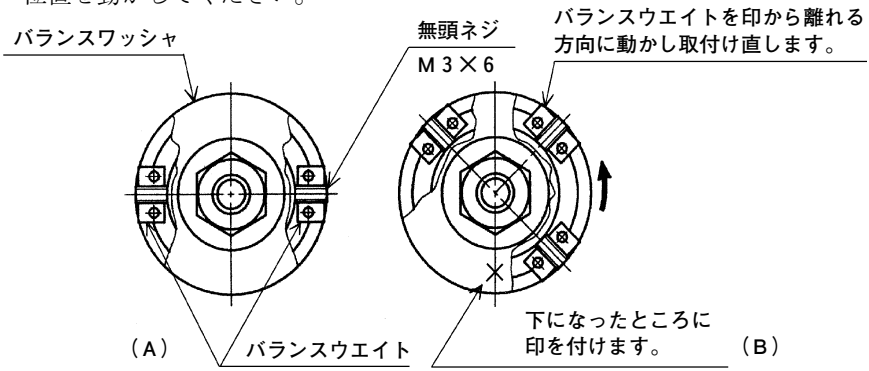


図　5

(4)　トイシ締付けナットを締め過ぎますとトイシが割れることがありますからご注意ください。締付けナットは回転により締まる方向のネジになっておりますから回転中に緩むようなことはありません。
(5)　規定寸法以上のトイシをご使用になりますとトイシの周速度が最高使用周速度を越え，破壊する危険があります。またトイシは最高使用周速度50 m／s｛3,000 m／min｝以上のトイシをご使用ください。

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．トイシの取替え時期……

摩耗して径が小さくなった場合は早めに新品と取替えてください。

2．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。
ゆるんだままお使いになると，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検……

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。
カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度(5㎜)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

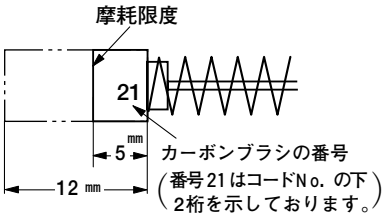


図　6

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号(21)の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法 カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図１参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。50 時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気を本体後部の風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※　（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

部品コード　99465704　N